

# 連合三重

No.157

2011年5月20日発行

日本労働組合総連合会  
三重県連合会  
〒514-0004 三重県津市栄町1丁目891  
TEL.059-224-6152  
FAX.059-223-3633  
発行責任者 林 克昌  
編集人 金 森 美智子



HPアドレス <http://www.jtuc-rengo.jp/mie/> メールアドレス [info@mie.jtuc-rengo.jp](mailto:info@mie.jtuc-rengo.jp)



## つなごろうNIPPON・三重の地から連帯と支えあい

### 第82回 三重県中央メーデー



～東日本大震災復興支援「三重の地からの連帯と支えあい」～



連合三重

日本労働組合総連合会三重県連合会



自治労三重県本部  
成川 達さん



自治労三重県本部  
高山 康之さん



5月1日、アスト津で約300名が参加して第82回三重県中央メーデーを開催。今回は東日本大震災復興に向けてのメーデーと位置づけ、前段の4月25日～28日に県下6ヶ所の駅頭で、復興カンパ活動を行いました。

冒頭に震災被災者に哀悼の意を表して黙祷をささげた後、主催者を代表して土森会長から、「震災復興に向けてできる限りのことを皆さんと一緒にやっていきたい。今年の春闘は震災の影響を受けているが、粘り強く交渉を進めてほしい。また、統一地方選挙は連合三重にとって厳し

い結果となったが、雇用の確保や社会保障の充実など、希望と安心の社会実現に向けて、取り組んでいきたい。」と挨拶されました。

その後、連合本部や連合三重の取り組み報告と、3月に宮城県へ震災ボランティアに参加した自治労の2名から、スライドを使って現地の状況や活動報告を受けた後、「つなごろうNIPPON救援宣言」を採択し、ガンバロー三唱で閉会しました。

### 県下6ヶ所で復興支援カンパ活動を実施

● 新政みえにもご協力いただきました。 ●



▲4月25日(月) 桑名駅



▲4月25日(月) 松阪駅



▲4月26日(火) 近鉄四日市駅



▲4月26日(火) 津駅



▲4月27日(水) 宇治山田駅



▲4月28日(木) 白子駅

5月18日現在で  
**4,915,424円**  
のカンパ金が  
集まりました。

みえ災害ボランティア支援センター (岩手県下関伊郡山田町)

# 岩手県山田町への 災害ボランティア募集中

震災状況 (山田町)

みえ災害ボランティア支援センターでは、山田町への災害ボランティアを募集しています。  
連合三重では、「みえ発ボラパック」を支援していきます。



「みえ災害ボランティア支援センター」へ連合三重から30万円を寄付  
“復旧、復興活動へ役立ててほしい”  
(左は山本康史センター長)

## 募集要項

### 日程及び募集人数

- ・第7便 6月4日(土)～6月11日(土)
  - ・第8便 6月11日(土)～6月18日(土)
  - ・第9便 6月18日(土)～6月25日(土)
  - ・第10便 6月25日(土)～7月2日(土)
- (以降も現地の状況等を踏まえて順次募集を予定)
- ・募集人員は、各便とも20名程度(18才以上に限る)
  - ・事前説明会には必ず参加してください。  
(毎週土曜日13:00～アスト津3F)

### 応募方法

- ・各便出発日の前週木曜日(毎日9:00～17:00)までに「みえ災害ボランティア支援センター」(TEL **059-226-6916**)へ直接申し込んでください。
- ・詳細及び応募用紙は「みえ災害ボランティア支援センター」のホームページからダウンロードできます。
- ・申し込みの際には、申し込み書のコピーを労働組合を通じて連合三重にもFAXしていただきますようお願いいたします。(FAX 059-223-3633)

### 活動内容

**現地で被災者のニーズに応じた生活支援などを行う災害ボランティア及び現地ボランティアセンターの運営を支援する運営支援ボランティア**

現地ボランティアセンターは、日々変わっていく被災地の状況に対応しながら要望を把握し、様々な場所から集まっているボランティアの皆さんに役割を的確に分担して、橋渡しを行う調整機関です。

### 費用(個人負担)

- ・バス代(往復10,000円)及び期間中の食費は各自の負担
- ・ボランティア保険は加入必須(Aタイプ490円/Bタイプ720円)

### その他

連合三重で下記の作業用用具を準備(貸出等)しますので、希望者はご連絡ください。

- ・ブーツタイプの安全靴(JFマーク)+踏み抜き防止用の中敷
- ・作業用手袋(産廃作業用ゴム手袋)+作業用マスク(使い捨てタイプ)
- ・ヘルメット及びゴーグル など

## ボランティアバス行程

- (1日目) 18:30 津出発 = 車中泊 =
- (2日目) =SAで朝食(各自負担)=10時頃  
山田町着  
ボランティアセンターで引継、活動
- (3～6日目) ボランティア活動
- (7日目) 昼 山田町出発 = 夕食を温泉宿にて  
とり入浴(各自負担) = 車中泊 =
- (8日目) = 朝 津到着

## 活動スケジュール

- 6:00 起床・朝食
  - 7:00 前日の伝達、当日の調整
  - 8:30 現場スタッフ現地へ出発
  - 9:00 作業開始
  - 12:00 センターへ戻り昼食
  - 13:00 現地へ出発し、作業開始
  - 16:00 作業終了、班長ミーティング
  - 17:00 全体ミーティングで反省会と翌日の準備
  - 19:00 夕食
  - 22:00 消灯
- ※状況により変更することがあります



▲ 吉川副事務局長も5/13～5/22に参加

## 参加者からの報告

### みえ発ボラパック第3便に参加して

住友電装労働組合 執行委員長 岩田安正さん



現地で統括リーダーという役割を任せられ、皆さんに言い続けたこと次の3つです。

「皆で元気に三重に帰る！山田町復興の下支えをする！自工程完結！」

メンバー全員が責任感を持ち、前向きに、そしてチームワークの中からそれぞれの役割を果たせるようになってきました。行政、社協、自衛隊、他からのボランティアとの調整も多く、風呂に入れる環境がどうしても必要と要望し続け、自衛隊の仮設風呂を設置してもらいました。ボランティアとして一番大切なことは現地の方から信頼されること！ニーズには必ずこたえること、頼りにされなければ復興の手助けが出来なくなります。どれだけ忙しくても、顔がだせるよう調整しました。山田町は他からのボランティアがあまり入らず、これからも支援の手が長期にわたり必要です。大変な事も多くありましたが、機会があればまたぜひ支援に行きたいと思っています。

#### 現地の状況

- ・町の多くの人が死亡または行方不明となり、町の殆どが燃えた地域で、臭くてほこりっぽい状態。
- ・復旧が進むにつれニーズは増え（70件/日程度）、他からのボランティアはなく、「みえボラパック」が頼りとなっている。

#### ボランティア状況（約60～80名/日）

- ・三重32名（10日）、静岡25名（7日）、長野4～5名（3～4日）、当日ボランティア。
- ・三重の17名が、運営スタッフとしてニーズ班、マッチング班、配車班、資材班にあたり、現場スタッフを動かす。各班とも、当日の反省や翌日の行動をミーティングで確認しあい、改善要望があればサブリーダーへあげ、全体ミーティングで改善提案を行い、チームとして決定する。

#### 買い物

- ・徒歩15分のところにコンビニ（7時～21時OPEN）があるが、売り切れのものも多い。また、夜は街灯がなく治安上、明るいうちに購入する必要がある。

#### 食事

- ・昼はおにぎり2個（300円）、夜はお弁当（500円）、朝は各自調達して持ち込み。
- ・上下水とも使用でき、上水は地下水でとても美味しい。
- ・電子レンジ、ポットは用意されている。

#### ■ 参加される方へのアドバイス ■

- ・アイマスク、防塵マスク（アスベスト用もあるといい）、耳栓、ガスコンロ（キャンプ用などがあると便利）、真空パックの餅やりんご、魚肉ソーセージ、朝食用保存食などの準備がおすすめ。
- ・お風呂に入れる環境にないため、体拭きシートが必要（シャワーは可能）。
- ・女性の方には、下着の片づけ、幼稚園保育園等で子どもたちの相手や調理補助等の作業があります。

## 震災関連のQ&A

**Q1.** 勤務している会社は地震で直接被災をしていないが、「震災の影響による業績悪化で解雇する」と言われたが、許されるのか？

**A1.** 労働契約法 16 条では、解雇は客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当であると認められない場合は、解雇権を濫用したものととして無効であると定められている。震災を理由とする解雇についても、震災に乗じた「便乗解雇」は許されない。

**Q2.** 震災の影響を受けて休業中だが、派遣社員のアルバイトは可能か？

**A2.** 生活維持のため、会社へ届けて認められれば可能。

平成 23 年度

## 全国安全週間スローガンが決定

全国安全週間は、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的に昭和 3 年から実施しています。

・今年期間

本週間 ▶ 7/1～7/7 準備期間 ▶ 6/1～6/30

・今年のスローガン

あんぜん かぞく ねが きぎょう いしずえ  
安全は家族の願い企業の礎

つく げんき にっぽん  
創ろう元気な日本！

# 6月は男女平等月間です

連合は、男女平等推進への機運を高めるため、2004年から6月を「男女平等月間」と設定して、男女平等の職場・社会づくりに向けた取り組みを展開しています。

連合三重は、6月に“男女平等参画トップ宣言”をもとにして、土森会長と女性役員によるオルグ行動を行い、構成組織の役員に男女平等参画の進捗状況について意見交換を行い理解を求めます。

## 今年のテーマ

- 労働組合における男女平等参画を進めよう
- 社会のあらゆる政策・意思決定の場における女性の参画を進めよう
- 雇用の全ステージにおける男女平等を実現しよう
- パートタイム労働者の均等・均衡待遇を確立しよう
- 女性の就業継続のための環境整備をさらに進めよう

なんでだろう？  
同じがんばり、この違い。



6月は連合“男女平等月間”

厚生労働省は、1985年より6月を「男女雇用機会均等月間」と定め、また、内閣府は2001年から6月23日～29日の1週間を「男女共同参画週間」と設定

## 環境について考える —環境学習会—

5月14日、三重県勤労者福祉会館で91名の参加を得て、環境学習会を開催。

講師に三重大学副学長の朴恵淑さんを迎え「なぜいま環境なのか」～産業経済と環境との持続可能な発展のための戦略～をテーマに講演を受けました。

朴副学長は「低炭素社会や循環型社会の構築には多くの団体が認識共同体として連携すべき。環境問題は過去・現在・未来を見て戦略を立てて取り組む必要がある」と講演されました。



▲ 朴副学長

## 部落解放三重県民会議 第7回 総会・講演会を開催

5月7日、三重県人権センターで68名（うち連合三重から35名）の参加を得て開催。

総会では2011年度活動方針や予算、役員体制を決定しました。



▲ 高橋千秋参議院議員

その後の講演会では、「人権侵害救済法制定に向けて」のテーマで民主党人権政策推進議員連盟会員／外務副大臣の高橋千秋参議院議員を招き、“人権侵害救済法案”の国会における経過説明と今後の課題について講演を受けました。

## 主な今後のスケジュール

6月9日(金)～10日(土)	なんでも労働相談（鈴鹿） 10:00～17:00 ☎0120-154-052
6月10日(金)	組織拡大担当者研修会
6月23日(木)～25日(土)	連合平和行動 in 沖縄
7月11日(月)～12日(火)	連合ブロック政策研究集会
8月4日(木)～6日(土)	連合平和行動 in 広島
8月7日(日)～9日(火)	連合平和行動 in 長崎
9月9日(金)～12日(月)	連合平和行動 in 根室
10月28日(金)	連合三重第23回定期大会

連合三重は労働者福祉活動の強化に向けて、各種団体と連携して取り組みます

## 新登場 東海ろうきんモバイルカードローン

(会員組合員様限定)

2011年度営業推進計画では、【生活応援運動】を重要施策と位置付け、会員の皆様にご提案させていただいています。

その中で特にロッキー21をリニューアルし、【東海ろうきんモバイルカードローン】を発売させていただきました。

詳細については、本紙に差込みましたチラシでご確認いただくか最寄の支店までお問い合わせ下さい。